

ペレットストーブ

ペ レ ス タ ー

PelleStar 設置基準

この度は弊社のペレットストーブ「PelleStar」をご検討いただき、誠にありがとうございます。

この設置基準はPelleStarの設置計画に必要な情報が記載されています。この設置基準の内容をよく理解してから設置計画を立ててください。

この設置基準のほか、建築基準法や火災予防条例など、最新の法令や地域の条例も確認し、遵守してください。

設置基準から外れた設置の場合は不具合や故障、火災の原因となります。また、メーカーの保証対象外となります。

豊実精工株式会社

PelleStarの設置

標高

標高1,000m以上の場所に設置する場合は、PelleStarの設定変更が必要です。販売店または弊社までお問い合わせください。

燃焼状態の確認

ユーザーがPelleStarの燃焼状態を目視で確認できる位置に計画してください。

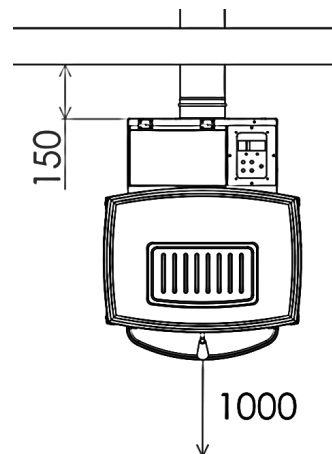
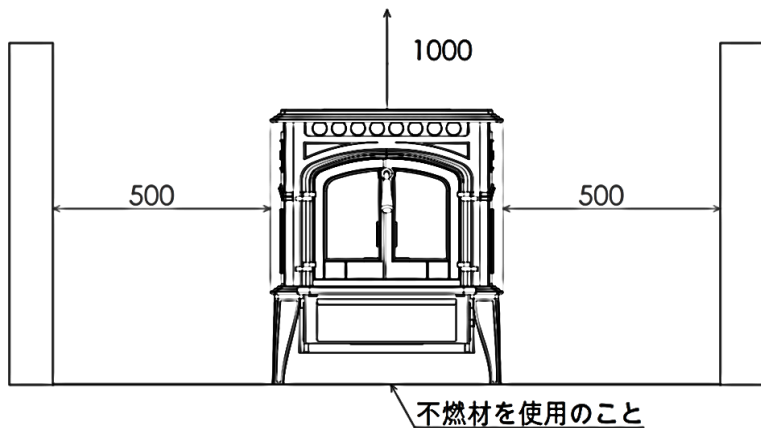
離隔距離

PelleStarの左右側方には、メンテナンス時の作業スペースとして、500mm以上の離隔距離を確保してください。PelleStar上方は燃料補給時のスペースとして、1,000mm以上の離隔距離を確保してください。

運転時は高温になります。PelleStarの前方には1,000mm以上の離隔距離を確保してください。PelleStarの後方には150mm以上の離隔距離を確保してください。この範囲内にカーテンなど可燃物を設けないでください。

床面

PelleStarは底面が高温になります。床面は耐熱性の敷板、タイルなど不燃材を使用してください。



コンセント

PelleStarの電源コードの長さは1500mmです。AC100V用、アース付きのコンセントを、電源コードがPelleStarや本体に接触しない位置に設けてください。

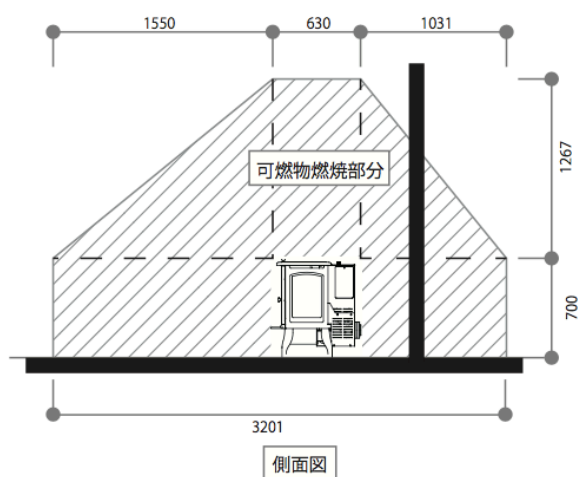
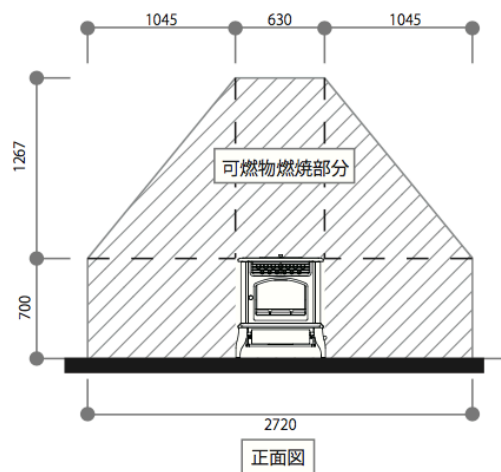
安全柵

PelleStarは鋳物部分やガラス部分が高温になります。小さいお子様がいる場合など、必要に応じてストーブを直接触らないよう安全柵を設置してください。

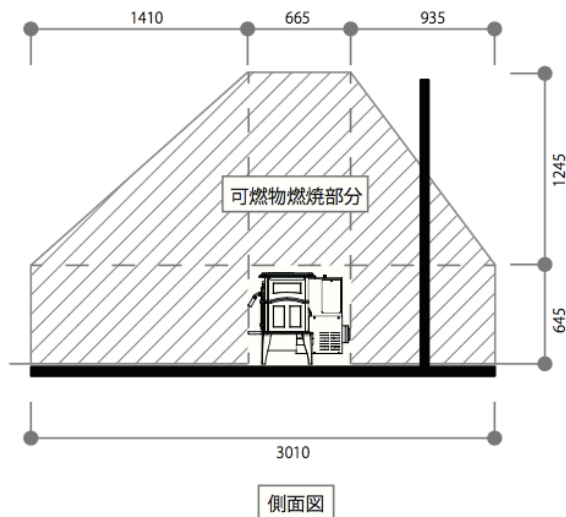
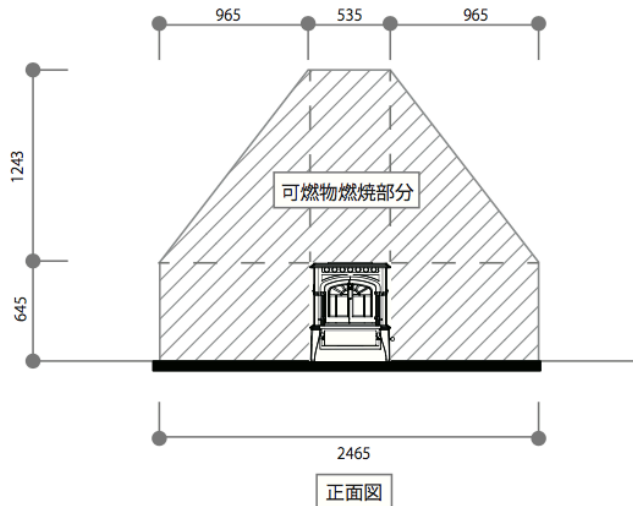
内装制限

PelleStarを設置する部屋が「火気使用室」と判断される場合、下図の範囲を特定不燃材料で仕上げてください。(平成21年 国土交通省告示第225号)

HPS-110



HPS-200



煙突の設置

掃除が必要

煙突掃除が必要です。設置後煙突の掃除ができるように計画してください。

給気方式

燃焼用空気の給気方式は、屋外から取り入れる「FF」方式と、室内から取り入れる「FE」方式の2つあります。

新築住宅や飲食店など、PelleStarを設置する部屋が負圧となる第3種換気の場合は、「FF方式」で計画してください。

排気口

排気口は以下のような場所を避けてください。

- ・シーズン中、強風が吹きつける場所
- ・建物の換気口の周辺
- ・排気のススや匂いが建物や近隣に影響する場所
- ・排気が樹木など可燃物にあたる場所

壁との距離

煙突と壁の間は150mm以上離してください。

立ち上げの長さ

煙突が短いと排気口から火の粉が出ます。煙突は1.5m以上立上げてください。

横引部分の長さ

煙突の横引部分の距離は、立上部分の距離の半分以下にしてください。

曲がり部分

煙突が90度に曲がる部分は2箇所以内にしてください。

壁貫通口

壁貫通口の処理

煙突と壁との間には、不燃性の断熱材を充填し、屋外から空気や雨水が流入しないよう気密・防水処理してください。